

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2021年12月29日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 75歳以上の医療費値上げやめろ！

来年10月から値上げの動きあり 各団体・緊急FAX行動

75歳以上の医療費2割負担は、2022年後半から行われる予定ですが、政府は、来年度予算案で、来年10月からの値上げを含む内容を決めました(▲300億円減)。各団体が反対の取り組みを進めています。

反対署名は道内2万4千筆以上

75歳以上の医療費2割負担値上げに反対する道連絡会(道高齢期運動連絡会、年金者組合道本部、道民医連、新婦人道本部、道社保協など)は、各団体の取り組みを交流しています。

各団体が、75歳以上の医療費窓口負担2割化中止を求める署名やこの項目を含む署名を取り組んでいます。連絡会は来年3月末までに10万筆以上の署名をめざしますが、12月中旬の集計で24253筆です。



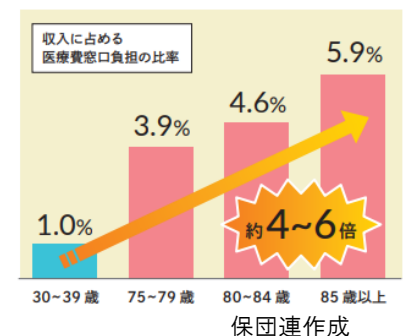
## 15日の年金支給日でも宣伝署名 札幌市西区では短期間で93筆 士別市でも

12月15日の年金支給日は、道内各地で宣伝署名活動を行いました。

年金者組合札幌西支部は、14人の組合員が、地下鉄琴似駅前で、寒風の中、署名の協力を訴えました。銀行で年金を引き出した方など、短時間で93筆の署名が集まりました。書記長の東さんは、「改悪の内容が知られていませんが、中身を伝えると協力してくれます」と話します。

また、年金者組合士別支部では、コロナのため休止していたスーパー前での宣伝署名活動を久しぶりに行いました。「生活が苦しいので、窓口負担2割は大反対」と署名する女性など短時間で20筆の署名が集まりました。支部では、組合員に、改悪内容を伝えるニュースを配布し署名を集めています。支部長の小池さんは、「10月から実施させないように、もっと取り組みを広げたい」と話します。

原則1割負担の今でも  
高齢者の窓口負担は重い



## いのち・健康・人権を脅かす医療費窓口負担2割化は中止してください！ 緊急FAX行動

中央社保協は、岸田政権が75歳以上の医療費2倍負担を2022年10月から実施しようとしている動きに対して、中止を求める緊急FAXを提起しました。道内でもFAX行動が行われています。

※FAX送付先は下記のとおりです。

厚労大臣(副大臣・政務官) 03-3595-2020  
厚生労働大臣官房 03-3592-6221  
同総務課 03-3595-2392

●政府が2倍化の口実とする「若い世代の負担軽減」は月30円ほどで、公費負担が最も削減されます。何よりも、病気やけがのリスクが高い高齢者世代に大打撃を与えます。応能負担というならば、富裕層や大企業の税・保険料負担に求めるべきです。先進国では、医療費の窓口負担は無料が当たり前です。

## 来年4月から保険料見直し 値上げの危険

1月6日に、北海道後期高齢者医療広域連合へ要請・懇談も

2022年度から後期高齢者医療保険料が見直され、値上げの危険があります。被保険者の保険料は医療費(患者負担を除く)全体の約1割ですが、後期高齢者と現役世代の人口比率の変化に応じて負担割合を2年ごとに改定、現行の11.41%から2022年度から11.77%(見込み)に増えます。(※ 保険料負担 = 医療給付費 × 後期高齢者負担率) 今でも高い保険料の軽減などを求めて、1月6日に、北海道後期高齢者医療広域連合へ要請・懇談します。